

# Rotation flap を用いた乳房部分切除術の 1 例

田中 益美<sup>1)</sup> 小野 周子<sup>1)</sup> 野原 有起<sup>1)</sup>  
吉永 康熙<sup>1)</sup> 山下 眞一<sup>2)</sup> 佐藤 寿彦<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 福岡大学病院 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学講座

<sup>2)</sup> 福岡大学筑紫病院 呼吸器・乳腺外科

**要旨：**Oncoplastic Breast Surgery (OBS) が広く知られるようになり、乳房部分切除術は様々な手技や工夫のもとで実施されるようになっていく。乳癌に対する乳房部分切除では、術後の外観を改善するため変形が少なく、対側乳房との対称性を維持する必要がある。今回、我々は術前化学療法により腫瘍は著明に縮小したものの、石灰化病変が広く残存した症例に対して、OBS の一つの手技である Rotation flap を用いて乳房部分切除術を実施し、良好な整容性を維持できた 1 例を報告する。

**キーワード：**オンコプラスチックサージェリー, Rotation flap, 乳房部分切除術, 広範石灰化病変, 術前化学療法